

青森県景気ウォッチャー調査 (平成31年1月期)

調査期間 平成31年1月4日～1月18日 回答率99%

概況

1月期の景気の現状判断DIは46.7となり、4期連続で50を下回った。
先行き判断DIは、現状判断DIと比べて1.3ポイント増加の48.0となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



平成31年2月

青森県企画政策部統計分析課

1. 結果概要

※設問によっては、無回答の場合もあり、設問毎の調査客体数は100とならない場合もある。

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が2.0ポイント増加、「やや良くなっている」が2.2ポイント増加、「変わらない」が1.5ポイント減少、「やや悪くなっている」が1.7ポイント減少、「悪くなっている」が1.0ポイント減少により、全体では2.4ポイント増加の46.7となり、景気の横ばいを示す50を4期連続で下回った。

判断理由では、中心街区への投資物件の増加や、冬物衣料の売行きの好調などのプラス面がある一方で、年末年始の悪天候による来店客数の減少や、人手不足の深刻化による収益の低下などといったマイナス面をあげる声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で5.0ポイント増加、企業関連で6.9ポイント減少、雇用関連で増減なしとなった。特に家計関連の飲食で大きく増加した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、県南地区ではポイントが減少したが、他の3地区では増加した。DIは、東青、津軽、県南の各地区では50を下回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が1.0ポイント増加、「やや良くなる」が3.2ポイント増加、「変わらない」が3.5ポイント減少、「やや悪くなる」が1.2ポイント増加、「悪くなる」が1.9ポイント減少により、全体では2.0ポイント増加の48.0となり、景気の横ばいを示す50を2期連続で下回った。

判断理由では、新天皇即位・改元に伴う祝賀ムードの高まりや、中心市街地再開発事業に期待する声などがあった一方で、米中貿易摩擦の激化の懸念や、消費税増税を控え、消費者の支出抑制や生活防衛を懸念する声などがあった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で2.6ポイント増加、企業関連で6.9ポイント減少、雇用関連で17.8ポイント増加した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区でポイントが増加した。DIは、東青地区では50となったが、他の3地区では50を下回った。

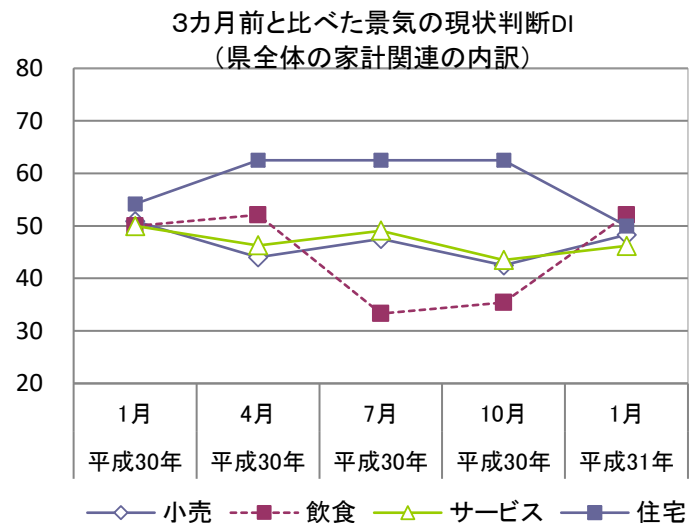
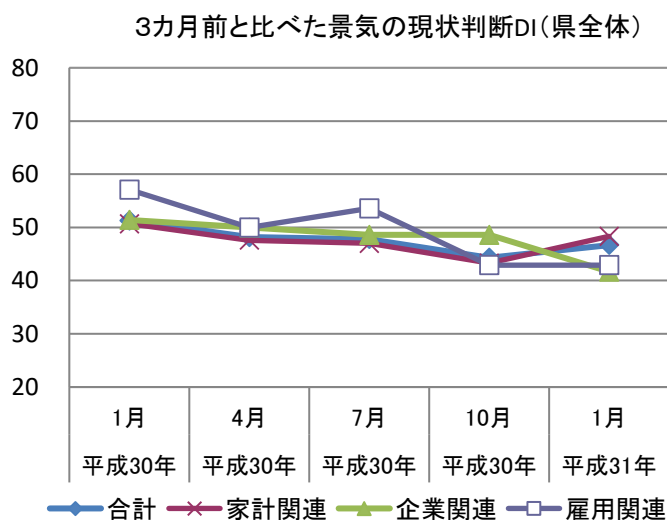
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

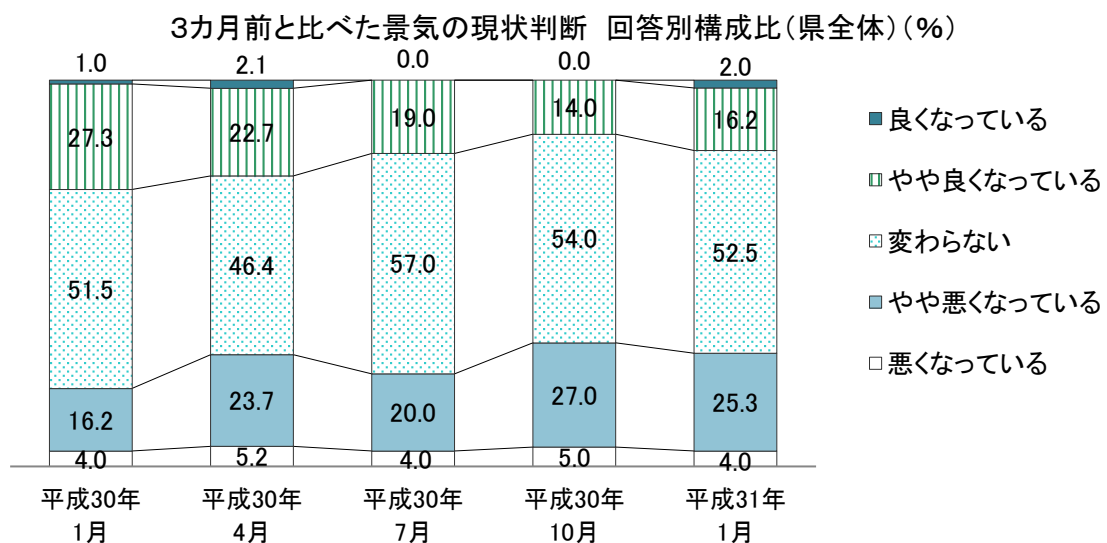
n = 99

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	51.3	48.2	47.8	44.3	46.7	2.4
家計関連	50.7	47.6	47.0	43.3	48.3	5.0
小売	50.9	44.0	47.5	42.5	48.3	5.8
飲食	50.0	52.1	33.3	35.4	52.1	16.7
サービス	50.0	46.3	49.1	43.5	46.2	2.7
住宅	54.2	62.5	62.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	51.4	50.0	48.6	48.6	41.7	▲ 6.9
雇用関連	57.1	50.0	53.6	42.9	42.9	0.0



②回答別構成比 (%)

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
良くなっている	1.0	2.1	0.0	0.0	2.0	2.0
やや良くなっている	27.3	22.7	19.0	14.0	16.2	2.2
変わらない	51.5	46.4	57.0	54.0	52.5	▲ 1.5
やや悪くなっている	16.2	23.7	20.0	27.0	25.3	▲ 1.7
悪くなっている	4.0	5.2	4.0	5.0	4.0	▲ 1.0

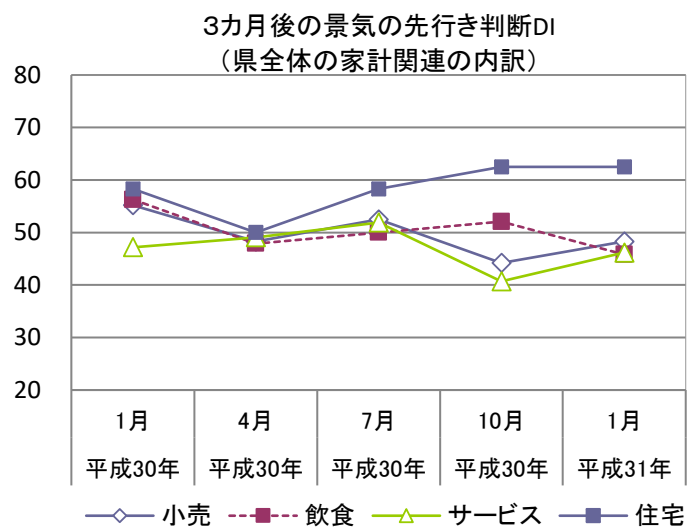
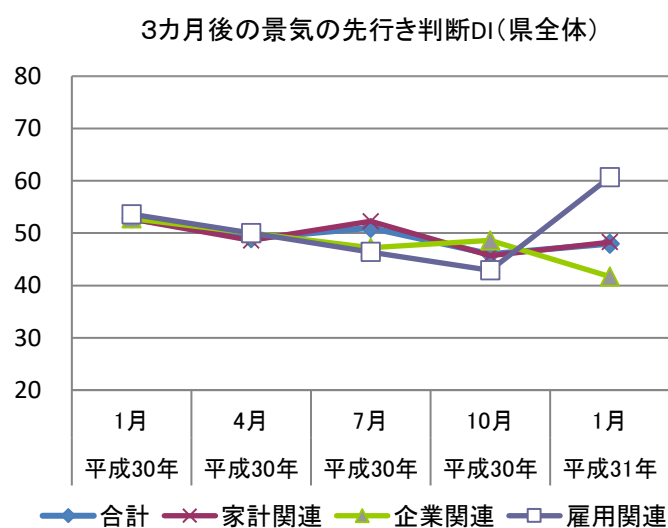


(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

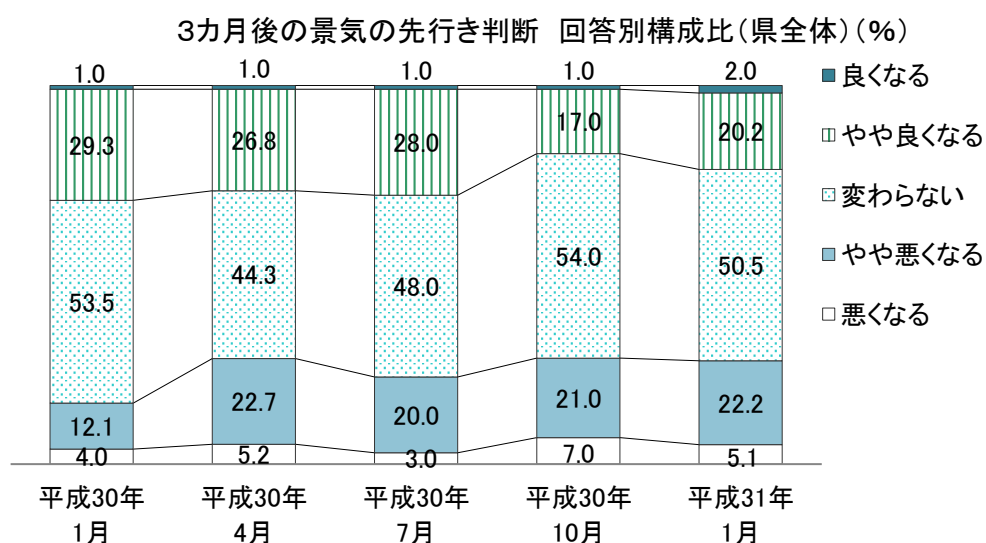
n = 99

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	52.8	49.0	51.0	46.0	48.0	2.0
家計関連	52.7	48.6	52.3	45.7	48.3	2.6
小売	55.2	48.3	52.5	44.2	48.3	4.1
飲食	56.3	47.9	50.0	52.1	45.8	▲ 6.3
サービス	47.2	49.1	51.9	40.7	46.2	5.5
住宅	58.3	50.0	58.3	62.5	62.5	0.0
企業関連	52.8	50.0	47.2	48.6	41.7	▲ 6.9
雇用関連	53.6	50.0	46.4	42.9	60.7	17.8



②回答別構成比 (%)

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
良くなる	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0
やや良くなる	29.3	26.8	28.0	17.0	20.2	3.2
変わらない	53.5	44.3	48.0	54.0	50.5	▲ 3.5
やや悪くなる	12.1	22.7	20.0	21.0	22.2	1.2
悪くなる	4.0	5.2	3.0	7.0	5.1	▲ 1.9



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

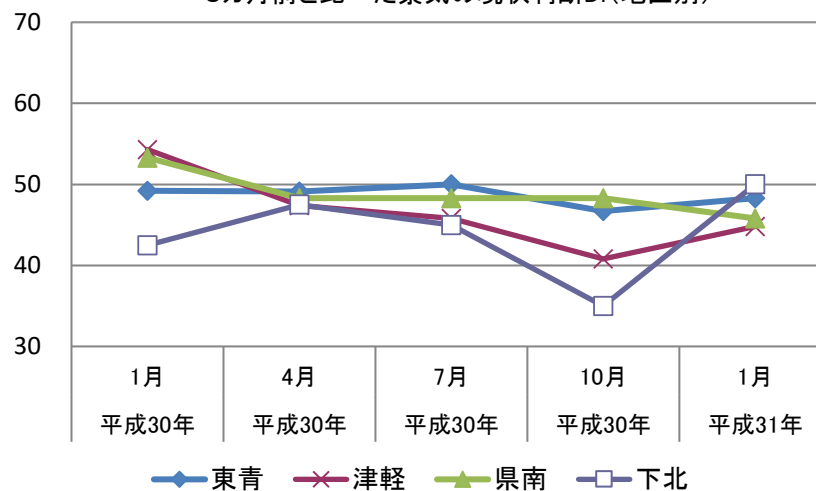
<地区別>

①DI

n = 99

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	51.3	48.2	47.8	44.3	46.7	2.4
東青	49.2	49.1	50.0	46.7	48.3	1.6
津軽	54.3	47.4	45.8	40.8	44.8	4.0
県南	53.3	48.3	48.3	48.3	45.8	▲ 2.5
下北	42.5	47.5	45.0	35.0	50.0	15.0

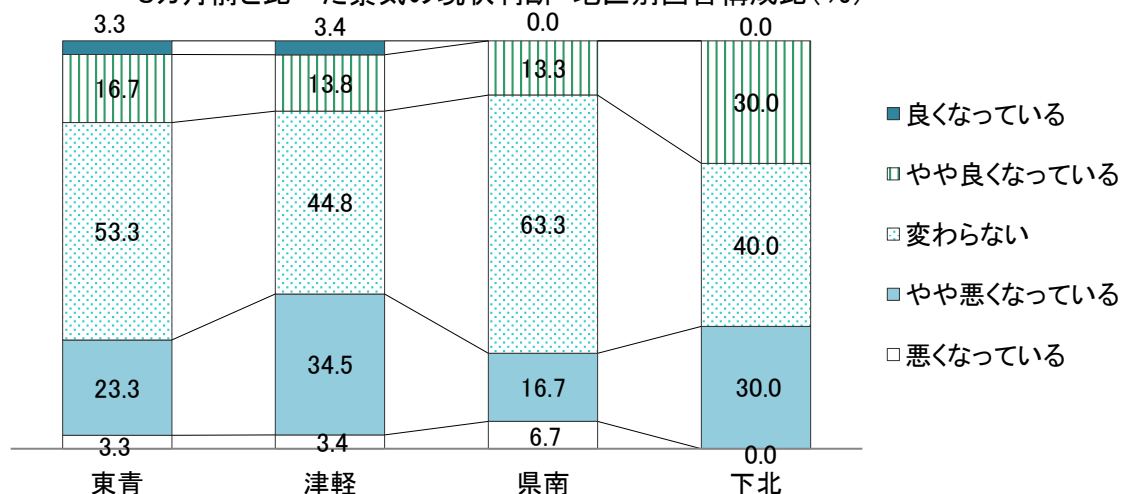
3カ月前と比べた景気の現状判断DI(地区別)



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	3.3	3.4	0.0	0.0
やや良くなっている	16.7	13.8	13.3	30.0
変わらない	53.3	44.8	63.3	40.0
やや悪くなっている	23.3	34.5	16.7	30.0
悪くなっている	3.3	3.4	6.7	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 地区別回答構成比 (%)



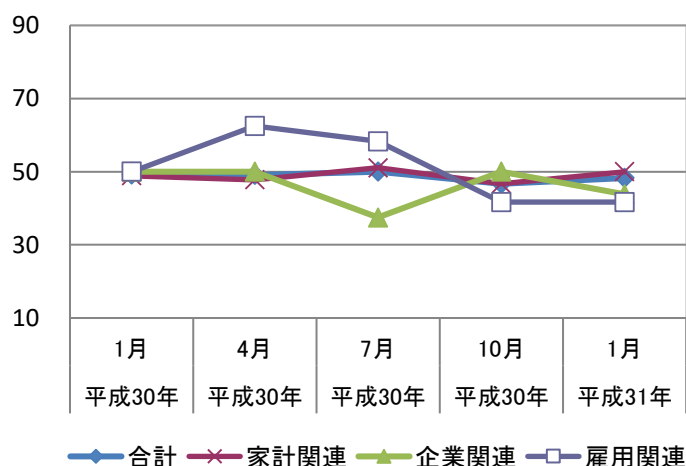
<東青地区>

①DI

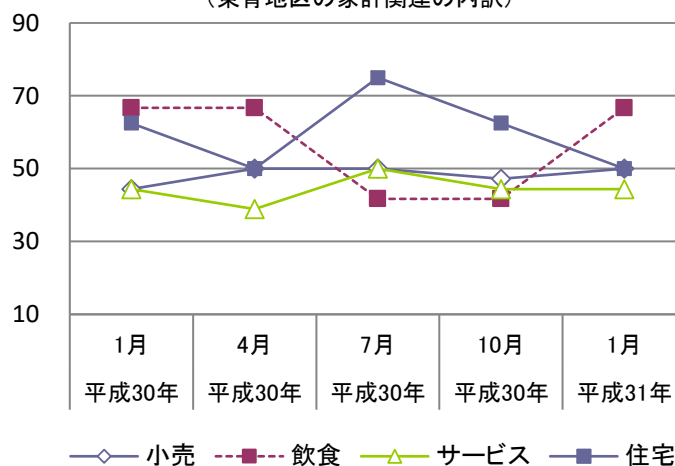
n = 30

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	49.2	49.1	50.0	46.7	48.3	1.6
家計関連	48.9	47.8	51.1	46.7	50.0	3.3
小売	44.4	50.0	50.0	47.2	50.0	2.8
飲食	66.7	66.7	41.7	41.7	66.7	25.0
サービス	44.4	38.9	50.0	44.4	44.4	0.0
住宅	62.5	50.0	75.0	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	50.0	50.0	37.5	50.0	43.8	▲ 6.2
雇用関連	50.0	62.5	58.3	41.7	41.7	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



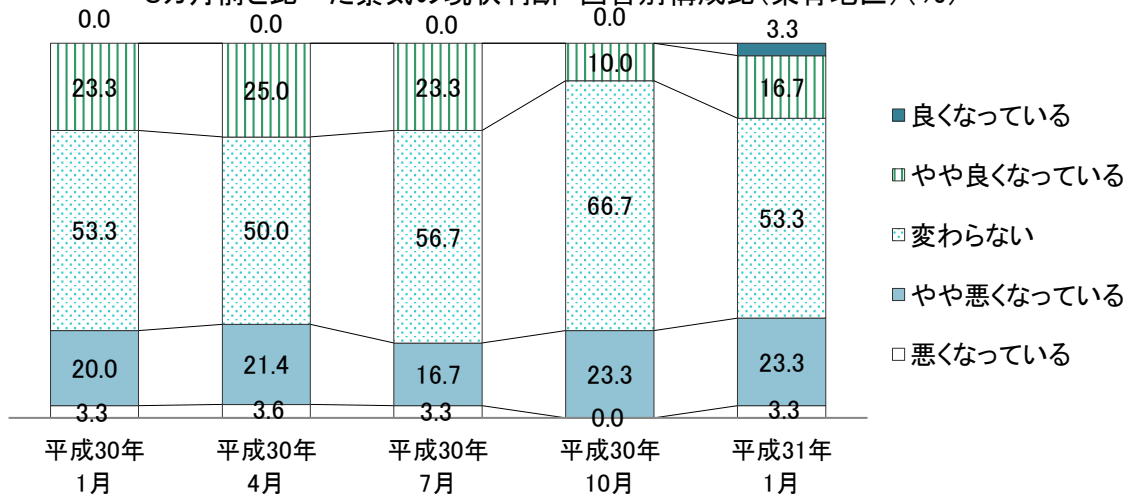
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3
やや良くなっている	23.3	25.0	23.3	10.0	16.7	6.7
変わらない	53.3	50.0	56.7	66.7	53.3	▲ 13.4
やや悪くなっている	20.0	21.4	16.7	23.3	23.3	0.0
悪くなっている	3.3	3.6	3.3	0.0	3.3	3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



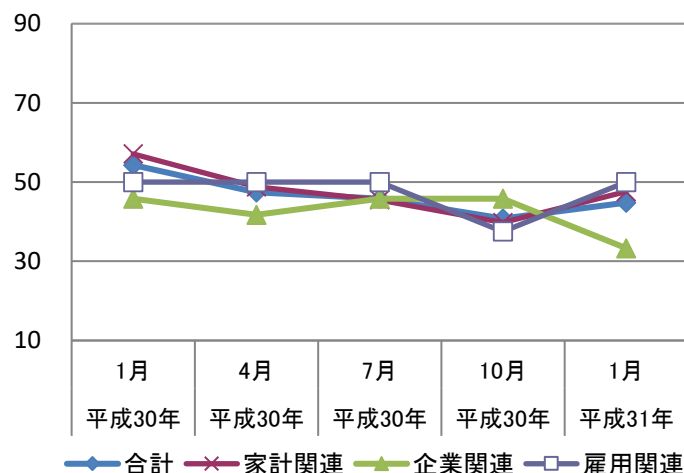
<津軽地区>

①DI

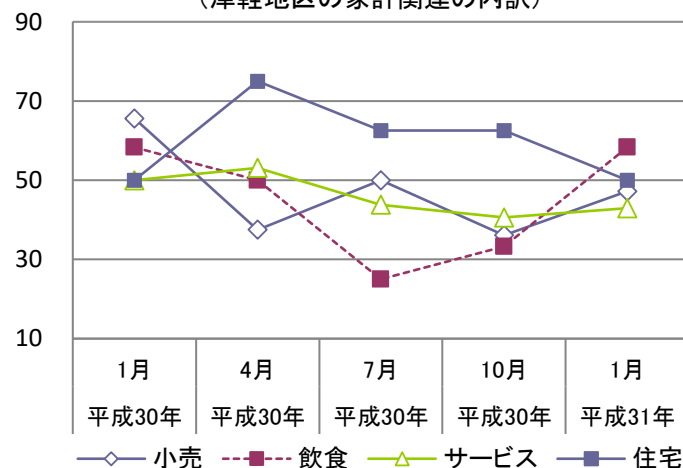
n = 29

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	54.3	47.4	45.8	40.8	44.8	4.0
家計関連	57.1	48.8	45.5	39.8	47.6	7.8
小売	65.6	37.5	50.0	36.1	47.2	11.1
飲食	58.3	50.0	25.0	33.3	58.3	25.0
サービス	50.0	53.1	43.8	40.6	42.9	2.3
住宅	50.0	75.0	62.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	45.8	41.7	45.8	45.8	33.3	▲ 12.5
雇用関連	50.0	50.0	50.0	37.5	50.0	12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



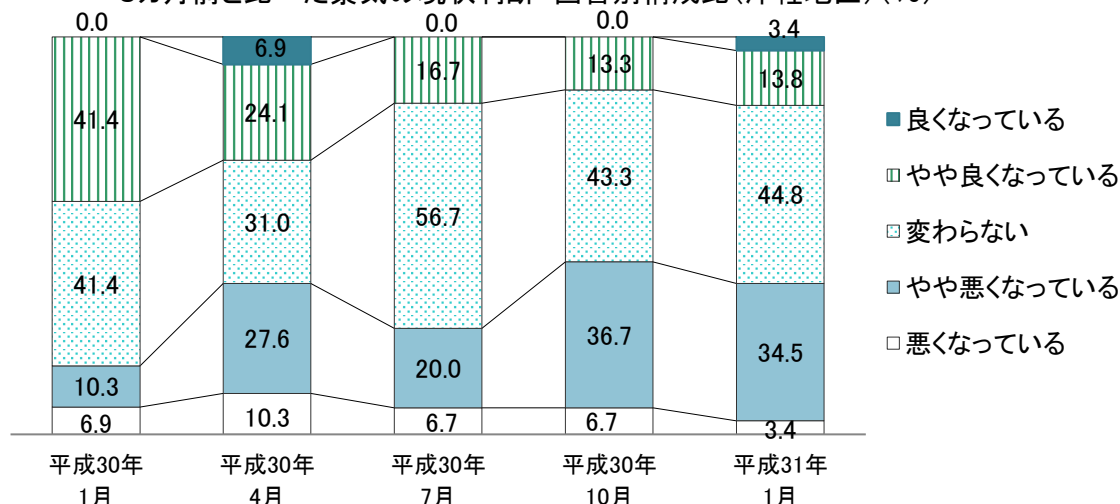
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	6.9	0.0	0.0	3.4	3.4
やや良くなっている	41.4	24.1	16.7	13.3	13.8	0.5
変わらない	41.4	31.0	56.7	43.3	44.8	1.5
やや悪くなっている	10.3	27.6	20.0	36.7	34.5	▲ 2.2
悪くなっている	6.9	10.3	6.7	6.7	3.4	▲ 3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



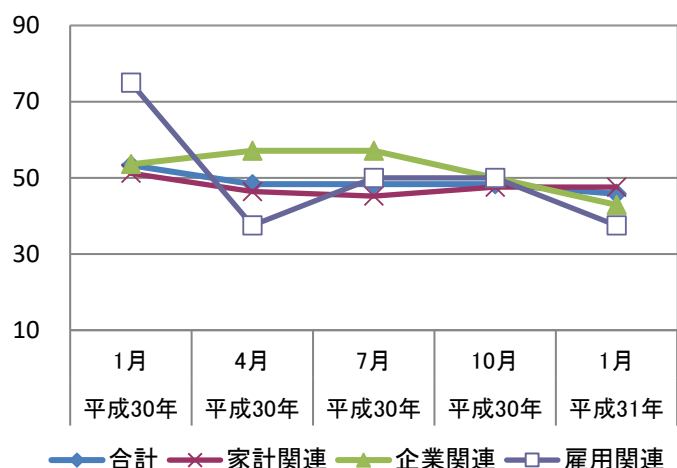
< 県南地区 >

① D I

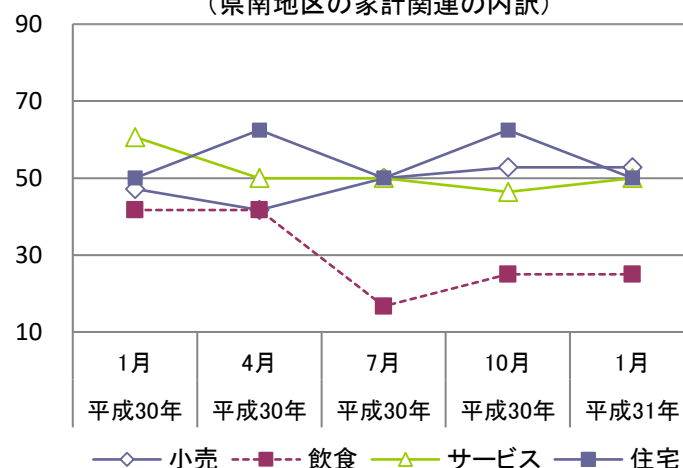
n = 30

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	53.3	48.3	48.3	48.3	45.8	▲ 2.5
家計関連	51.2	46.4	45.2	47.6	47.6	0.0
小売	47.2	41.7	50.0	52.8	52.8	0.0
飲食	41.7	41.7	16.7	25.0	25.0	0.0
サービス	60.7	50.0	50.0	46.4	50.0	3.6
住宅	50.0	62.5	50.0	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	53.6	57.1	57.1	50.0	42.9	▲ 7.1
雇用関連	75.0	37.5	50.0	50.0	37.5	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



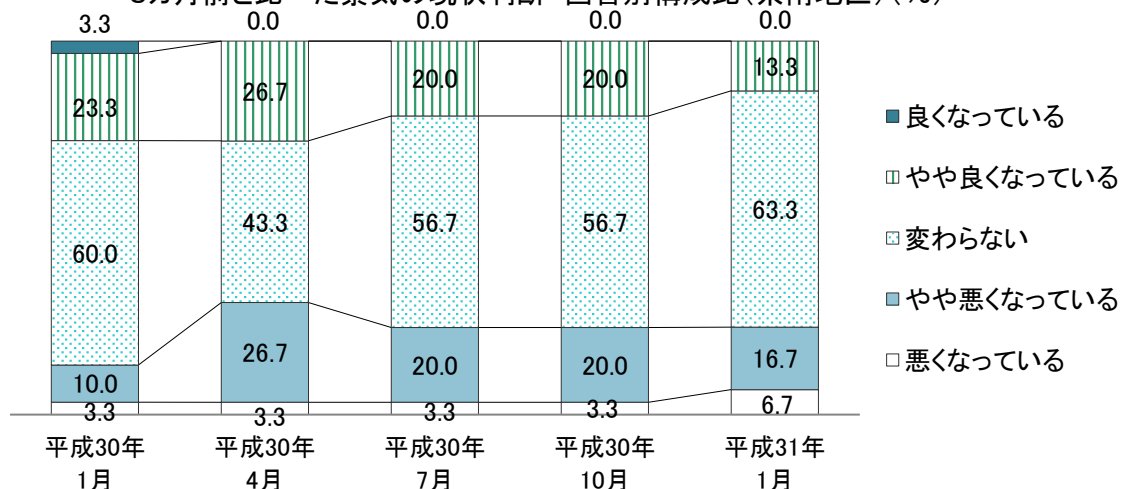
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	23.3	26.7	20.0	20.0	13.3	▲ 6.7
変わらない	60.0	43.3	56.7	56.7	63.3	6.6
やや悪くなっている	10.0	26.7	20.0	20.0	16.7	▲ 3.3
悪くなっている	3.3	3.3	3.3	3.3	6.7	3.4

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)



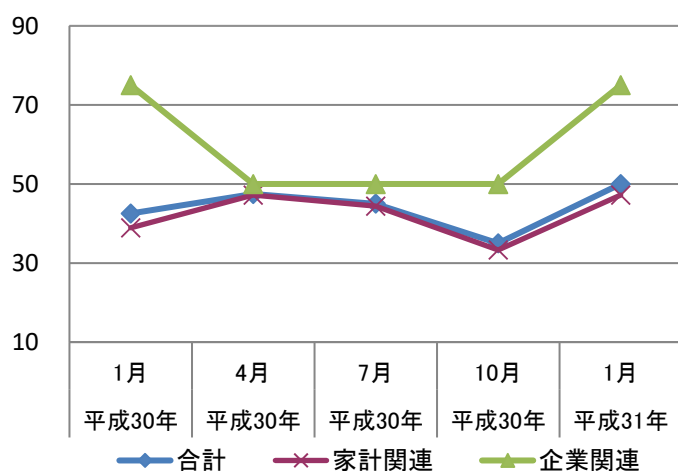
<下北地区> (参考)

①DI

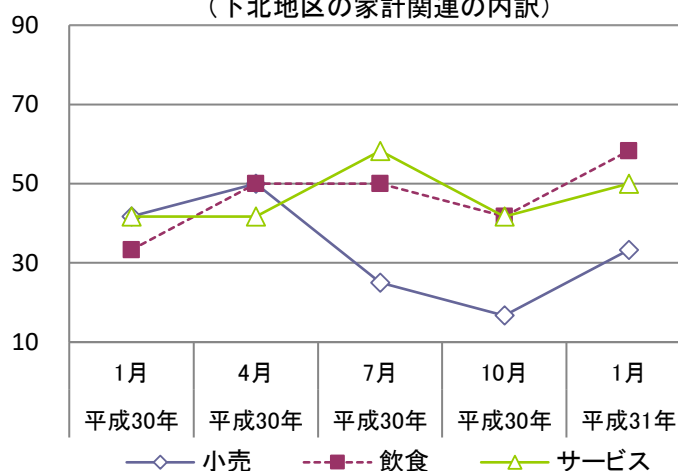
n = 10

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	42.5	47.5	45.0	35.0	50.0	15.0
家計関連	38.9	47.2	44.4	33.3	47.2	13.9
小売	41.7	50.0	25.0	16.7	33.3	16.6
飲食	33.3	50.0	50.0	41.7	58.3	16.6
サービス	41.7	41.7	58.3	41.7	50.0	8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	50.0	50.0	75.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



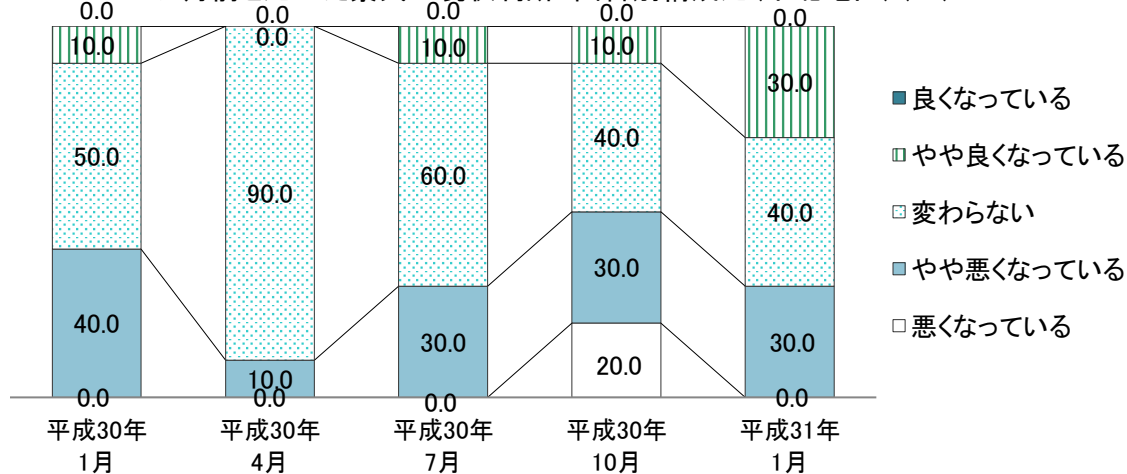
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	0.0	10.0	10.0	30.0	20.0
変わらない	50.0	90.0	60.0	40.0	40.0	0.0
やや悪くなっている	40.0	10.0	30.0	30.0	30.0	0.0
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	▲ 20.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)(%)



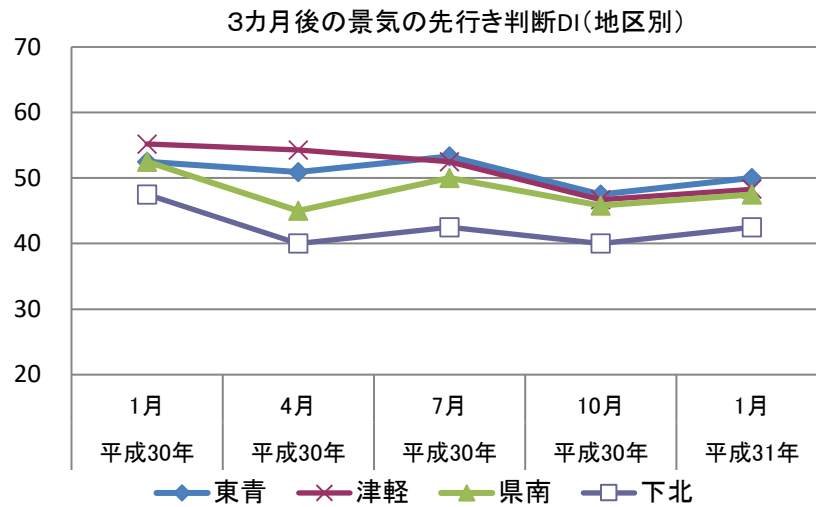
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

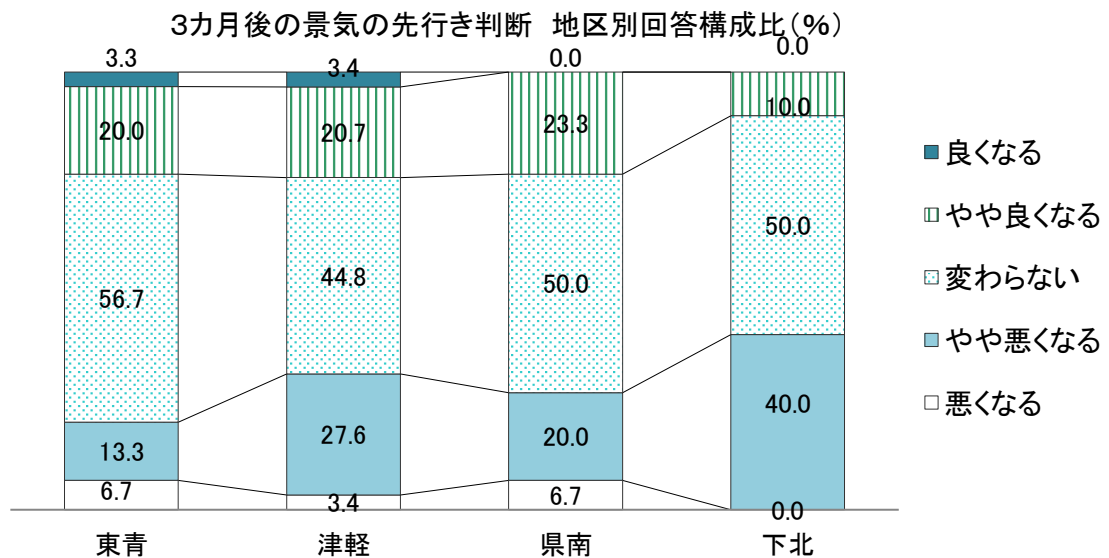
n = 99

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	52.8	49.0	51.0	46.0	48.0	2.0
東青	52.5	50.9	53.3	47.5	50.0	2.5
津軽	55.2	54.3	52.5	46.7	48.3	1.6
県南	52.5	45.0	50.0	45.8	47.5	1.7
下北	47.5	40.0	42.5	40.0	42.5	2.5



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	3.4	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	20.7	23.3	10.0
変わらない	56.7	44.8	50.0	50.0
やや悪くなる	13.3	27.6	20.0	40.0
悪くなる	6.7	3.4	6.7	0.0



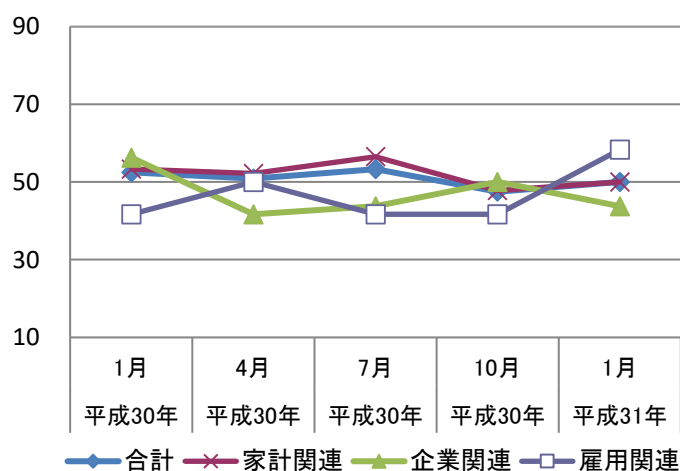
<東青地区>

①DI

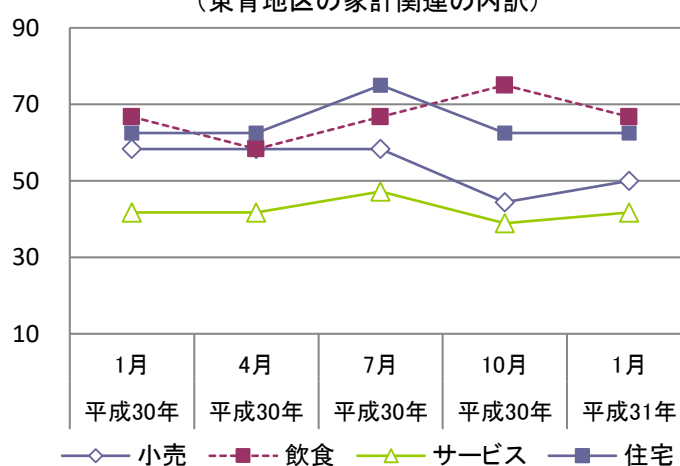
n = 30

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	52.5	50.9	53.3	47.5	50.0	2.5
家計関連	53.3	52.2	56.5	47.8	50.0	2.2
小売	58.3	58.3	58.3	44.4	50.0	5.6
飲食	66.7	58.3	66.7	75.0	66.7	▲ 8.3
サービス	41.7	41.7	47.2	38.9	41.7	2.8
住宅	62.5	62.5	75.0	62.5	62.5	0.0
企業関連	56.3	41.7	43.8	50.0	43.8	▲ 6.2
雇用関連	41.7	50.0	41.7	41.7	58.3	16.6

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



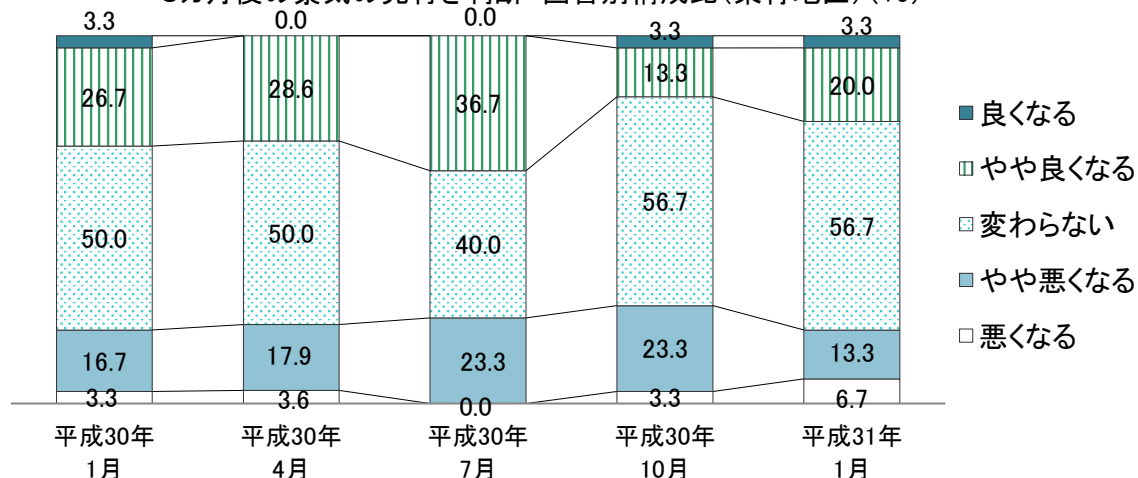
3カ月後の景気の先行き判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
良くなる	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	26.7	28.6	36.7	13.3	20.0	6.7
変わらない	50.0	50.0	40.0	56.7	56.7	0.0
やや悪くなる	16.7	17.9	23.3	23.3	13.3	▲ 10.0
悪くなる	3.3	3.6	0.0	3.3	6.7	3.4

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)(%)



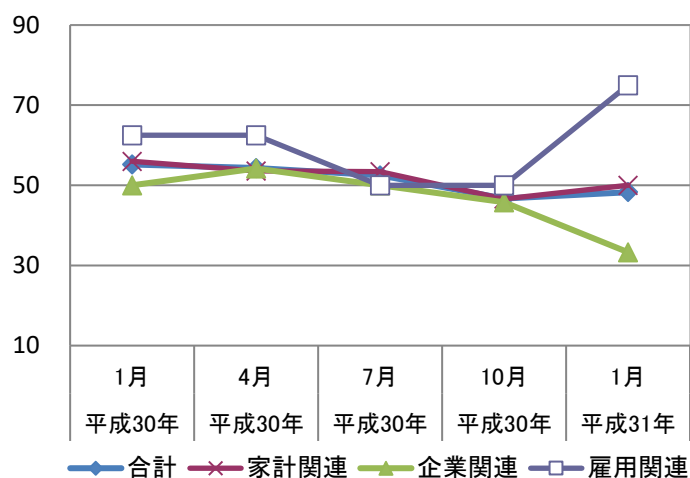
<津軽地区>

①DI

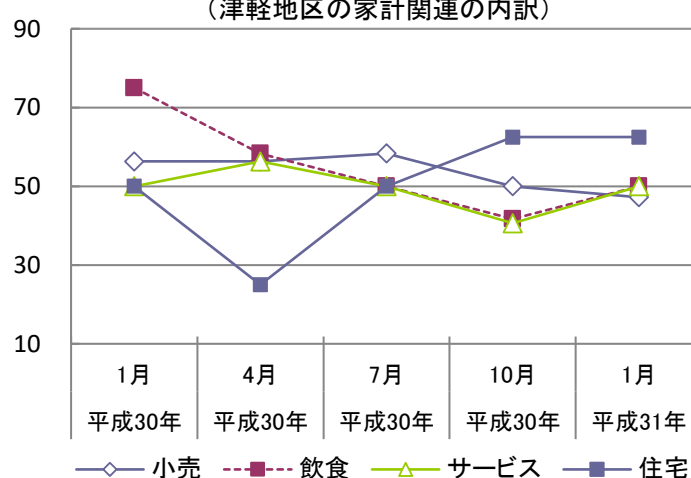
n = 29

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	55.2	54.3	52.5	46.7	48.3	1.6
家計関連	56.0	53.6	53.4	46.6	50.0	3.4
小売	56.3	56.3	58.3	50.0	47.2	▲ 2.8
飲食	75.0	58.3	50.0	41.7	50.0	8.3
サービス	50.0	56.3	50.0	40.6	50.0	9.4
住宅	50.0	25.0	50.0	62.5	62.5	0.0
企業関連	50.0	54.2	50.0	45.8	33.3	▲ 12.5
雇用関連	62.5	62.5	50.0	50.0	75.0	25.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



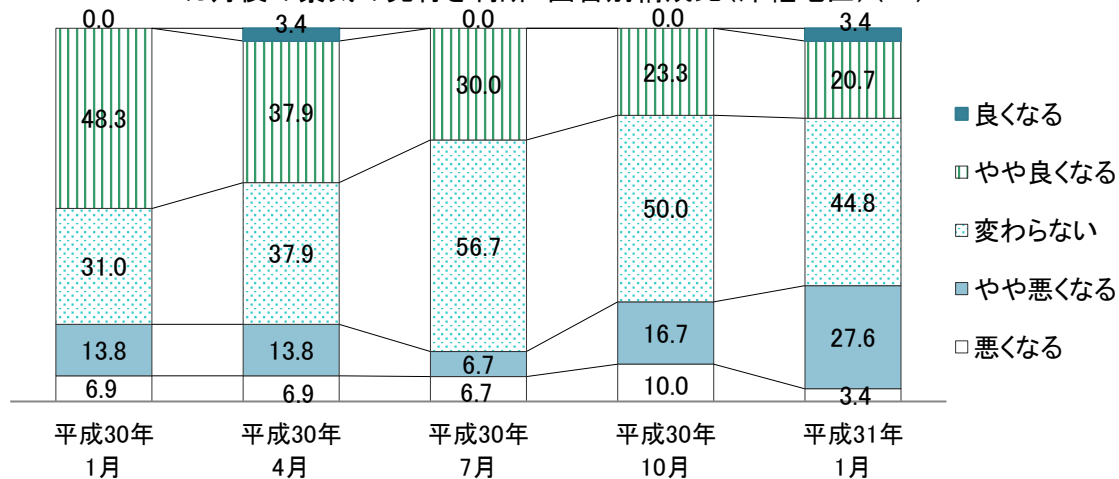
3カ月後の景気の先行き判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	3.4	0.0	0.0	3.4	3.4
やや良くなる	48.3	37.9	30.0	23.3	20.7	▲ 2.6
変わらない	31.0	37.9	56.7	50.0	44.8	▲ 5.2
やや悪くなる	13.8	13.8	6.7	16.7	27.6	10.9
悪くなる	6.9	6.9	6.7	10.0	3.4	▲ 6.6

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



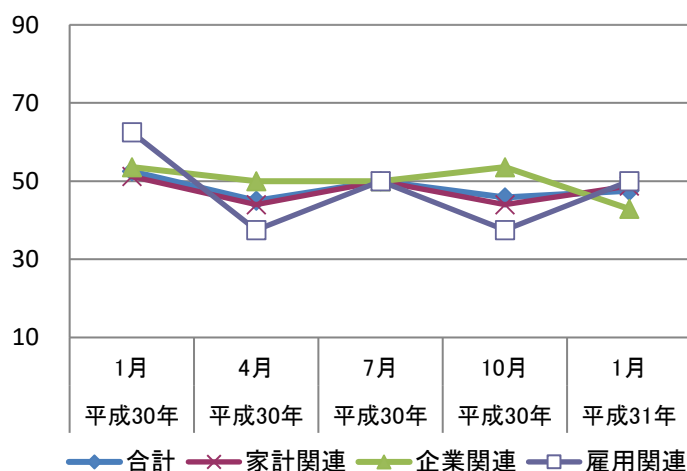
< 県南地区 >

① D I

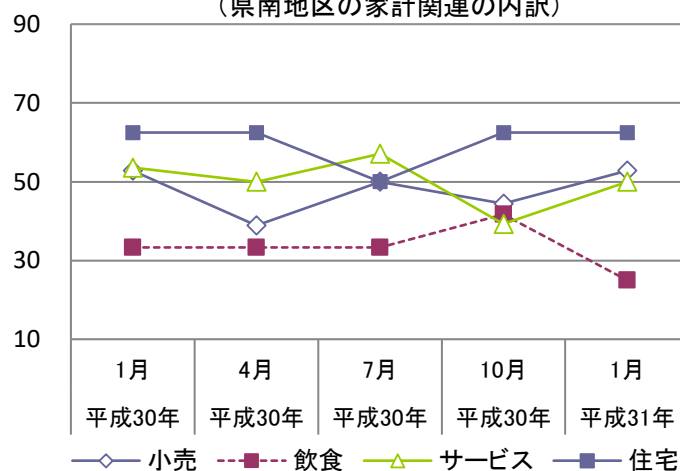
n = 30

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	52.5	45.0	50.0	45.8	47.5	1.7
家計関連	51.2	44.0	50.0	44.0	48.8	4.8
小売	52.8	38.9	50.0	44.4	52.8	8.4
飲食	33.3	33.3	33.3	41.7	25.0	▲ 16.7
サービス	53.6	50.0	57.1	39.3	50.0	10.7
住宅	62.5	62.5	50.0	62.5	62.5	0.0
企業関連	53.6	50.0	50.0	53.6	42.9	▲ 10.7
雇用関連	62.5	37.5	50.0	37.5	50.0	12.5

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



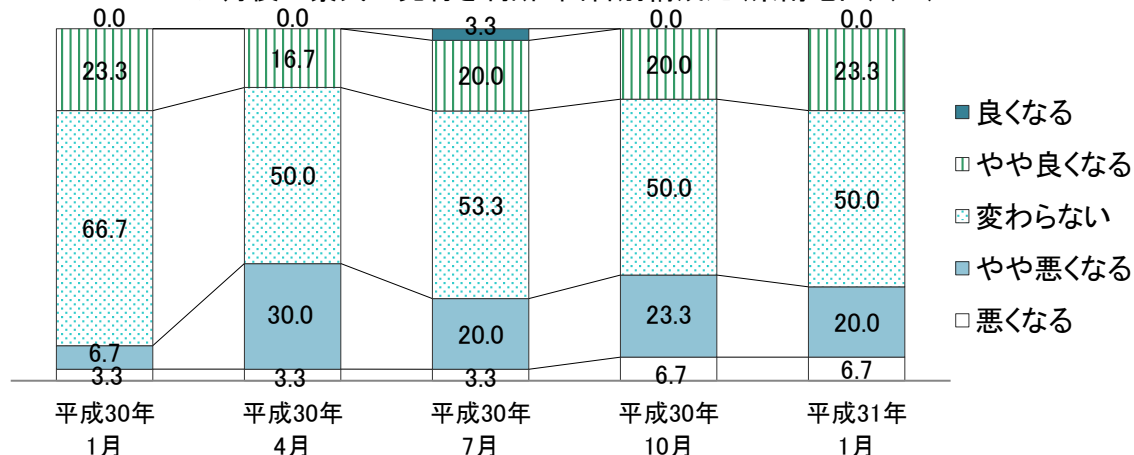
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	23.3	16.7	20.0	20.0	23.3	3.3
変わらない	66.7	50.0	53.3	50.0	50.0	0.0
やや悪くなる	6.7	30.0	20.0	23.3	20.0	▲ 3.3
悪くなる	3.3	3.3	3.3	6.7	6.7	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)(%)



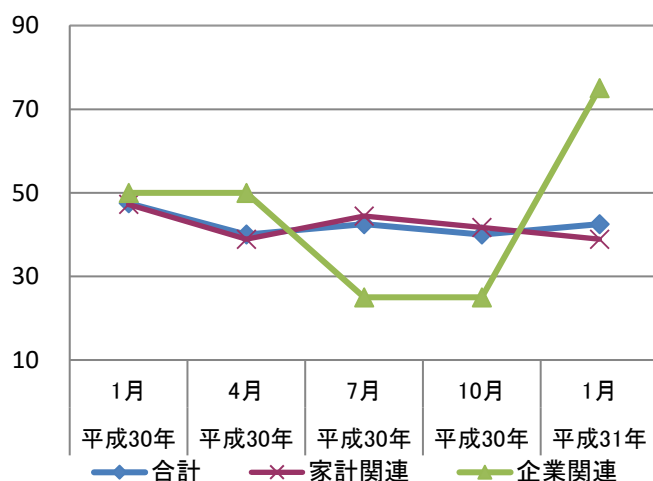
<下北地区> (参考)

①DI

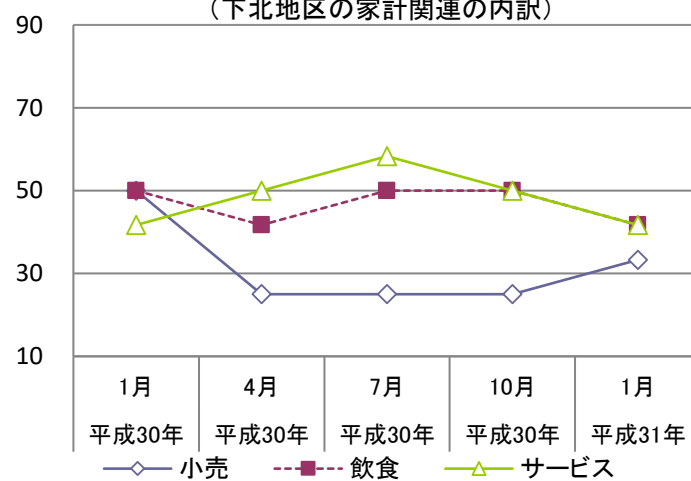
n = 10

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合計	47.5	40.0	42.5	40.0	42.5	2.5
家計関連	47.2	38.9	44.4	41.7	38.9	▲ 2.8
小売	50.0	25.0	25.0	25.0	33.3	8.3
飲食	50.0	41.7	50.0	50.0	41.7	▲ 8.3
サービス	41.7	50.0	58.3	50.0	41.7	▲ 8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	50.0	25.0	25.0	75.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月後の景気の先行き判断DI(下北地区)



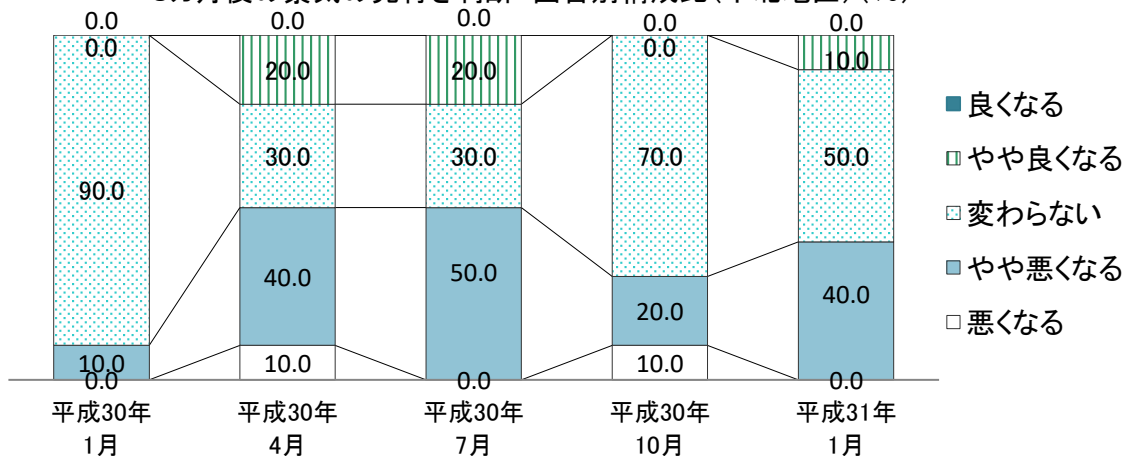
3カ月後の景気の先行き判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	10.0
変わらない	90.0	30.0	30.0	70.0	50.0	▲ 20.0
やや悪くなる	10.0	40.0	50.0	20.0	40.0	20.0
悪くなる	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	▲ 10.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)(%)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由	
良くなっている	家計	東青	一般飲食店	活性化活動などにより、人の動きも変わっているように感じることが多くなっています。特に、大型施設が市中心部のできることへの期待感が大きいと思います。	
		津軽	レストラン	時期的なもの。	
やや良くなっている	家計	東青	スーパー	ガソリン単価が下がり、自動車での来店客数は回復傾向です。ただし、買い回りがしやすくなったため、客単価は前年を割り込んでいます。	
			衣料専門店	青森市役所駅前庁舎のオープンから始まった、中心街区への投資物件の増や、各種イベント効果から、道行く人の顔色は良好に感じる。店頭でも高額品の動きが良い。	
			商店街	前年の年末年始は大変好調で、飲食・物販ともに良かった。本年も昨年同様の数値（前年比100～103%）で推移している。	
			卸売業	12月に入って、売上が昨年並みになってきている。	
			パチンコ	若干ではあるが、集客が増えている。	
		津軽	スーパー	若者中心ではあるが、「モノ」より「コト」への消費が増えている（映画・コンサート・イベントなど）。	
			一般小売店	前年は、改装工事に伴う仮店舗での営業と、11月下旬の新装開店があり、比較が難しいが、7月～9月に比べて、10月～12月の伸びが良かった。	
			都市型ホテル	昨年夏から秋にかけて全国的に発生した風水害や地震の影響が、やや収まった。	
			住宅建設販売	展示場来場者や完成見学会来場者からは、今年の消費税増税前に建築したい旨の希望や動きが多い。	
		県南	衣料専門店	気温が例年より高く推移しているが、11月以降は寒暖差が厳しかったこともあり、冬物衣料に動きが出てきている。	
			卸売業	景気が良いかどうかにかかわらず、最低賃金が上がり、労働者の手取りが増えているので、多少、お買い物が増えているのではないかと。	
		下北	スナック	年末年始のため。	
		企業	県南	広告・デザイン	この期間は、年末年始の広告で、通常月よりは広告が多いのは当たり前ですから、これをもって景気が良いという判断はできません。
				下北	食料品製造
変わらない	家計	東青	乗用車販売	前年同期と比べて同水準。	
			レストラン	「変わらない」というより「わからない」。年末は忙しかったため、良くなっているようには見えるが。	
			スナック	12月（年末）は、期待通り忙しかったです。12月でも、お客様がゼロの日があったお店もありました。考えられません。	
			観光型ホテル・旅館	当地の宿泊者数（1月～12月）は、前年割れの見通し。ただし、今冬の忘年会等の件数は横ばい。	
			旅行代理店	悪くはなっていないが、良くもなっていない。実感が無い。	
			美容院	お客様も相変わらず、長い方は長いなりに、若い方はあちらこちら、お店を変えているようです。	
			ガソリンスタンド	慢性的な人手不足の割には、賃金の上昇は限定的で、景気を左右するほどではない。	
			設計事務所	周辺では、景気に関わるような大きな出来事もなく、平穏に経過した様子。	
			住宅建設販売	消費税増税の駆け込み需要と、増税後の生活不安とで、プラスマイナスゼロという印象のため。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	乗用車販売	新聞・ニュース等では、景気の上向きを語っているが、青森県については感じられない。
			スナック	年末年始は若干の人出はありましたが、年々少なくなってきた。
			美容院	3カ月だと、変化しているとは思えないが、美容への期待度は高まっていると思える。
			パチンコ	特に変わった点はなかった。
		県南	百貨店	年末年始の商況をみると、依然として節約志向が強く、初売りは、一部ショップの福袋やイベントは好調だったものの、総じてクリアランスの動きが鈍く、全般的に力強さに欠けたため。
			家電量販店	ここ直近の内容としては、自店の売上げ・客数とも、前年並みの数字が続いている。年末年始のみ少し悪いが、戻ると思われる。
			商店街	例年と比べても、気温や降雪量に大きな変化が見られなかったため。
			スナック	今のところ、変化は感じないため。
			観光名所等	客入数・売上とも、減少が続いているため。
			タクシー	秋口には、仕事が少しは増えたように感じたが、小さなものばかりのようで、年度末にはそれも終わったように思う。
		下北	美容院	街の流れや購買状況から、変化を感じない。
			ガソリンスタンド	正確な消費支出動向はわからないが、現状では、個人消費に関しては、大きな変動は感じられないため。
			一般小売店	10月の増税に向けての生活防衛のため、客足が鈍ると予想していましたが、大きな落ち込みはありませんでした。お客様もいつも通り、変わらずといった感じです。
	一般飲食店		良くも悪くも当店は、創業以来60年以上にもなりますが、周りにできる新しい店が、数年単位で経営者が変わっていています。そういうところから見ても、長続きしないものだなあと思っています。	
	レストラン		良い時もあれば悪い時もあり、前年同月に比べると、少し落ち込んでいるような状態です。	
	ガソリンスタンド		外国人観光客が過去最高であるということですが、下北地方においては、全くと言っていいほど、外国人を見ることすらありません。	
	企業		東青	経営コンサルタント
		広告・デザイン		特に景気回復につながる材料がない。
		津軽	食料品製造	少雪の影響で気持ちが良い。消費にも表れるのではないかと。
			経営コンサルタント	人手不足が続いている。医療・介護、保育等、景気に左右されない業種は人件費（人手不足による残業代）がかさみ、小売業は売上げがさほど伸びていない。
広告・デザイン			受注売上高が増えていない。景気を上昇させるべく要素が乏しい。	
県南		飲料品製造	季節的な盛り上がりは、単発的には感じたが、市場全体の動きが悪い。プラス・マイナスで言うと、若干マイナスにふれている気がする。	
		建設	忘年会シーズンでも、人出が少なくなっているようだ。家飲みも増えた。	
		経営コンサルタント	クライアントの中でも、「仕事がない」という話は影を潜めています。強いて言えば人材不足です。	
雇用		東青	新聞社求人広告	食料品の値上げ、燃料価格の高まりがあり、消費を抑える傾向・節約指向は、あまり変化していないと思うため。
		津軽	新聞社求人広告	ボーナス・年末商戦も、思ったほどではなかった。野菜や灯油など、生活必需品の値上がり影響しているのではないかと。
	県南	新聞社求人広告	特に日常に変化が見られない。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	東青	コンビニ	単価が低い。雪が多いと、外に出ないで我慢する人が多くなるため。
			一般小売店	冬期間はやはり客足が鈍る。
			都市型ホテル	売上は前年並みであるが、仕入れ価格が上昇傾向にあり、さらに、最低賃金の上昇や人手不足による人件費の増加が、収益を圧迫している。
			観光名所等	閑散期に入っているため。
			タクシー	人手不足の深刻度が加速していることに加え、現存の労働力の高齢化により、企業の収益性も低下している。その結果、「数と効率」のダブル要素により、民間の中小零細企業の衰えが進むことが明らかである。
	津軽		コンビニ	同業者が増加しているため。
			衣料専門店	来店するお客様が少ない。
			商店街	年末年始の悪天候により、来街者は昨年と比べると少し減った。
			一般飲食店	年末にかけて雪が多く、客足が遠くなった。
			観光型ホテル・旅館	インバウンドのキャンセル。
			観光名所等	世界情勢で良いニュースが少ないことを、気にかけている人が多い。
			旅行代理店	仕事のボリュームが減っている。地元企業からの旅行依頼が減少している。
	設計事務所	消費税増税の前に、計画を実施したクライアントが複数いたため、例年と比較して、仕事量が減っていると感じる。		
	県南		コンビニ	年を越え、一息感があります。
			一般小売店	昨年末、老舗衣料品店が倒産した。トレンドの店ではなく、学生服の扱いも多い、生活に密着した店舗ただけに、景気に対する不安も大きい。
			一般飲食店	天候の上下が激しすぎる。急に上がったたり下がったりすると、客足が落ちる傾向にある。特に昨年度は、その傾向が顕著であった。
	下北		コンビニ	お金を使わなくなってきている。給料が物価に比べて上がっていない。
			スーパー	下北地区におけるスーパーの売上は、下降気味であるため。
			都市型ホテル	閑散期に入り、宿泊客数はやはり激減しています。また、忘新年会のシーズンではありますが、一般の企業ではなかなか難しいようで、前年並みで推移しています。
	企業	東青	食料品製造	製造における必要経費が軒並み高くなっているが、商品価格に反映させることがなかなかできず、大変苦しい状況です。
津軽			電気機械製造	「アップルショック」の影響により不透明。
県南		食料品製造	皇室の慶事、ラグビーワールドカップ開催、来年の東京オリンピック・パラリンピックに向けたイベントなど、前向きな需要や期待感が存在する一方で、必然的消費に関わる値上げが多く、先行きが見通しづらくなってきている。	
雇用	東青	人材派遣	派遣業界は苦しいと思う。	
	県南	人材派遣	人材不足（サービスの素）が顕著。	
悪くなっている	家計	東青	家電量販店	お客様の購買行動の変化において、最寄品についての価格戦略を打ち出しても、弾力性が乏しくなっている。単純に競合店との競争激化による、市場シェアの奪い合いによる原因も考えられるが、明らかに購買行動が鈍化している。
		県南	レストラン	夜の夕食をする人が減っている。市街へ足を運ぶ人も減っている。八戸市中心街へ足を運ぶ人が増えてほしい。
	企業	県南	電気機械製造	工場設備向けの仕事は、大幅に減ってきている。中国の景気悪化が原因。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	イベント開催が多くなってきており、中心街の努力が少しずつ実を結んでいると感じます。これからも継続して、いろいろ実行していけば未来は明るいと思います。
		津軽	一般飲食店	皇位継承で景気が良くなるという、明るい印象があるのと、「超大型連休」に向かって、人々の気持ちが好調気味になるため。
やや良くなる	家計	東青	コンビニ	天候が良くなってくると、外に出る機会が多くなってくるため。
			衣料専門店	ホテルの新設、新聞社の文化施設が今春にオープンなど、新規事業の動きが活発。さらには国際便の定期便が増えるなど、不安材料がないことが好条件です。
			観光名所等	閑散期を経て、徐々に観光シーズンを迎えるため。
			旅行代理店	平成の時代から次の時代へ。良くなると思います。
			住宅建設販売	多少、消費増税の駆け込み需要が期待できるため。
	津軽	家電量販店	増税前の高額商品の駆け込み需要に期待。	
		一般小売店	昨年改装以降、新しいお客様が増えている。	
		美容院	今後さらに、お客様に満足していただけるサービスを提供していくつもりです。	
		住宅建設販売	今年9月末までの工事が、ほぼピークとなりそうです。	
	県南	衣料専門店	今後、増税に絡んで9月までは緩やかな景気上昇があると考えられる。その分の反動は10月以降に。8%増税時よりも影響が大きいと思われる。	
		商店街	屋内スケート場の完成に向けて、何らかの動きがあるものと思われるため。	
		卸売業	いろいろな会社で、10月の消費税増税関連で、5%還元のカッシュレス化の動向を見て、顧客獲得のために施策を講じるものと思う。ペイペイの騒動などでわかる通り、普段使わなくても、恩恵が受けられる件に関して、庶民は敏感に反応する。	
		美容院	4月の新元号発表や統一地方選挙に向かって、少しは動くかもしれません。	
		住宅建設販売	消費税増税に向けて、住宅の需要が増えてくるため。	
	企業	下北	食料品製造	消費税増税前の買い物が増える。
	雇用	東青	新聞社求人広告	年度変わり前後の時期に合わせた、購買意欲の高まり（期待値込み）。
			津軽	人材派遣
県南		新聞社求人広告	4年に一度の統一地方選があるほか、5月の新天皇即位に向けて、祝賀ムードの高まりなどに期待を込めて。	
		新聞社求人広告	希望的観測だが、元号が変わることに期待したい。	
変わらない	家計	東青	百貨店	中心市街地活性化と、市内再開発の状況に注視。
			スーパー	景気が良くなる理由は特にない。
			一般小売店	良くなるための材料が不足。
			商店街	年末年始の状況のまま進むと思われ、バーゲンセールが早まる。客単価の低下が心配だが、客数は伸びると思われる。
			卸売業	大きく伸びることはないと思われるため。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	レストラン	「変わらない」というより「わからない」。年末は忙しかったが、年始から3月までは、どうなることやら。
			スナック	飲食業は、相変わらず静かだと思います。1月～2月は全く把握できません。自分なりに頑張るのみです。
			美容院	客層というより、お客様の人数が少なくなっているようです。
			設計事務所	消費税アップ前の工事着工が、どれだけ見込まれるか。その動向が気になる。
		津軽	スーパー	株価も不安定となっており、先行きは不透明ではあるが、地方都市の企業（中小）においては、影響は少ないのではないかと。
			乗用車販売	要因が見当たらない。
			商店街	冬のイベント（雪灯籠まつりなど）が開催されても、やはり天候次第でかなり違ってくる。
			観光型ホテル・旅館	特殊団体のキャンセル。
			都市型ホテル	好材料がない。燃料費（原油価格）が下がれば、この限りではない。
			観光名所等	アメリカ・中国の動向。情報化社会の進化。AIの進化。
		県南	パチンコ	変わる要素が見当たらない。
			設計事務所	大型物件を計画していたクライアントは、既にも実施した方が多いので、これからという方は少ないと思うが、住宅等を計画している方は、例年通りの推移であると感じる。
			百貨店	改元や、消費税増税前の需要を期待するものの、先行きが不透明で、今後3カ月で景気が回復するとは考えにくい。
	一般小売店		消費税増税の行方がどうなるかが決定されないと、不安が募るばかりで、消費につながらない。	
	スナック		良くなりそうな要因も、悪くなりそうな要因も、思い当たらないため。	
	観光名所等		集客できるようなものに変化がないため。	
	下北	タクシー	現在進行中の仕事も終わり、新しい仕事と言っても、平成30年は災害も多かったのでも…。オリンピックに関するお金も、地方にはあまり配分にならないのではないかと。働く人も、中央の方に行ってしまうだろう。	
		ガソリンスタンド	当地においては、大きな変動要因はないものと思われ、現在の状況が続くものと思われ。	
		一般小売店	増税直前までは、そんなに変化はないのかな？と、期待を込めて。	
		一般飲食店	普段、マーケット等で買い物をしていると、お客さんの財布のヒモは固いように感じます。	
		都市型ホテル	売上げ確保のため、いろいろなイベント等を仕掛けたりはしていますが、春までは辛抱だと思います。	
	企業	東青	ガソリンスタンド	土木工事業は良かったと聞いていますが、その分のお金が、地域経済に大きく流れてくれれば良いのですが。
			建設	仕事量が増加したのではなく、大手が都市部で忙しかったために地方に出てこなくなったことで、地元業者の受注機会が増加しているように思う。
津軽		経営コンサルタント	八甲田、高山稲荷等に外国人観光客が見られるようになったが、全体に影響するほどではない。米中貿易が落ち着かないが、現状維持は春頃までは続くと思う。	
		食料品製造	消費税が上がるまでは、消費が増えるのではないかと。	
		経営コンサルタント	春までは、このまま停滞するのではないかと。	
		広告・デザイン	見積依頼件数及び見込工事物件数が増えていない。	

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	県南	食料品製造	国際的には米中経済摩擦、国内的には秋の消費税増税の行方次第で、不安要素が多いため。
			飲料品製造	「平成最後」で騒いでいるが、市場の動きには、あまり影響しないであろう。消費税増税という意識が大きく、良くて据え置き。
			建設	増税が予定されているので、駆け込み需要はあるだろうが、真の景気ではない。
			経営コンサルタント	秋の消費税アップまでは、このまま好景気が続いていくと思います。資金に行き詰まっただけの倒産は、めっきり減りました。
			広告・デザイン	良くなる、悪くなるという判断ではなく、消費税アップを控え、どのような動きになるのか。わからない、予想がつかないというのが正直なところではあります。
やや悪くなる	家計	東青	観光型ホテル・旅館	冬期間中、前シーズンは台湾定期チャーター便等があったが、今冬はなし。
			都市型ホテル	予約状況が、前年より遅れている。
			競輪場	毎年2月は、売上及び入場人数が下がるため。
		津軽	コンビニ	冬期間はイベントが少ない。人の移動に期待したい。
			卸売業	繁忙期が秋から冬にかけてであるため、春先は落ち込む。
			旅行代理店	株安など、あまり良い話がない。青森県全体の旅行のボリュームが減ってきているように思う。
		県南	コンビニ	米・中・韓、消費増税。不安がいっぱいです。
			家電量販店	売上は、単価のアップにより、まだ前年の金額以上を保っているが、少子高齢化が進んでおり、客数は少しずつ減っていく傾向にあるので、いずれ下がっていくものと思う。
			一般飲食店	消費税増税により、購買意欲がガタ落ちで、お客様の動揺が感じられる。その結果、客数が減り、景気が悪化の道を辿るのではないかと。
	旅行代理店		トランプ大統領、中国、韓国等の動きが不透明であり、金融マーケットが不安定となるため、消費が減退すると思う。	
	下北	スーパー	売上は下降気味と予想されるため。	
		企業	津軽	飲料品製造
	電気機械製造			「アップルショック」の影響により不透明。
	悪くなる	家計	東青	家電量販店
タクシー				来春から実施される「働き方改革」を前に、企業の負担がより一層重くなるのが目に見えている中で、果たしてどのようにこの現実を受け入れ、実施していくかを考えると、非常に気が重くなってしまいます。危機感から企業内の引き締めが強くなれば、自ずと景気も連動して、引き締め傾向が強まっていくと思われる。
県南			レストラン	ランチタイムに、忘年会をしている人もいました。歓送迎会も、ランチタイムにやる方が増えるかもしれません。夜の商売は、売上げが下がります。
企業		県南	電気機械製造	米中の貿易摩擦は、経済発展を押し下げ、経済基盤の弱い本県も、大きく影響するであろう。少なくとも良くはならない。

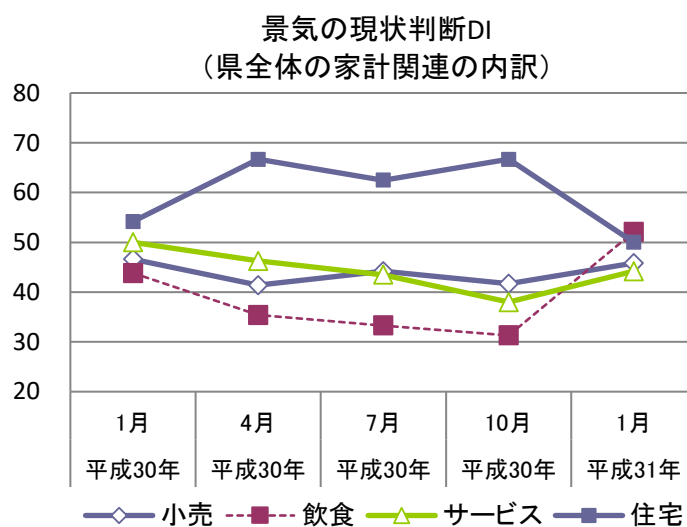
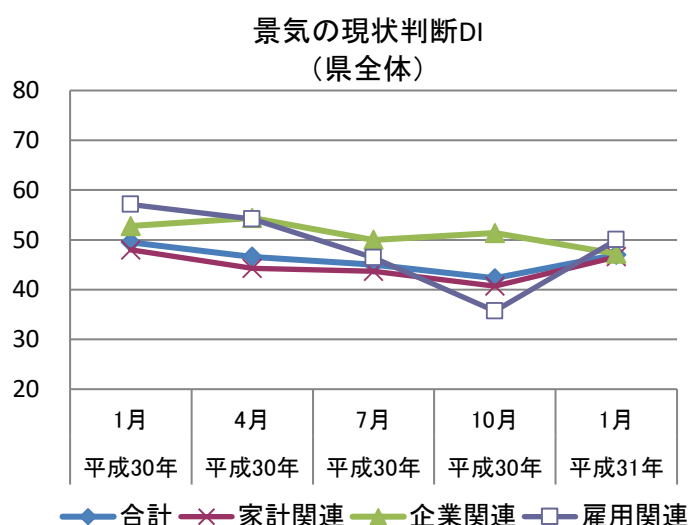
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

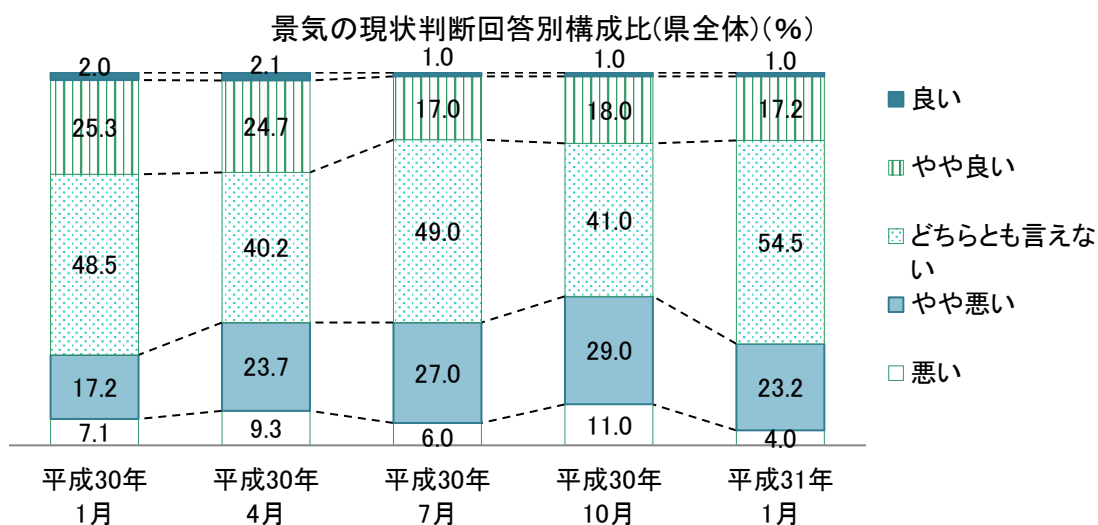
n = 99

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	49.5	46.6	45.0	42.3	47.0	4.7
家計関連	48.0	44.3	43.7	40.7	46.6	5.9
小売	46.6	41.4	44.2	41.7	45.8	4.1
飲食	43.8	35.4	33.3	31.3	52.1	20.8
サービス	50.0	46.3	43.5	38.0	44.2	6.2
住宅	54.2	66.7	62.5	66.7	50.0	▲ 16.7
企業関連	52.8	54.4	50.0	51.4	47.2	▲ 4.2
雇用関連	57.1	54.2	46.4	35.7	50.0	14.3



②回答別構成比 (%)

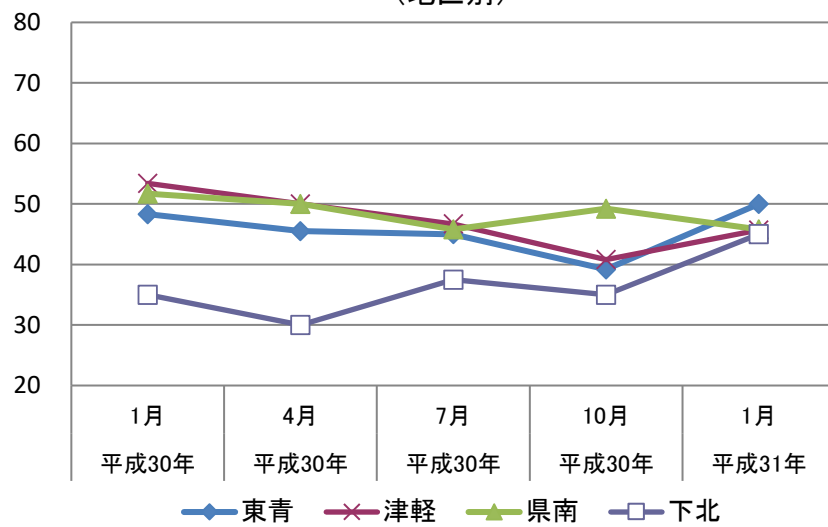
	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
良い	2.0	2.1	1.0	1.0	1.0	0.0
やや良い	25.3	24.7	17.0	18.0	17.2	▲ 0.8
どちらとも言えない	48.5	40.2	49.0	41.0	54.5	13.5
やや悪い	17.2	23.7	27.0	29.0	23.2	▲ 5.8
悪い	7.1	9.3	6.0	11.0	4.0	▲ 7.0



③地区別DI

	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	前期調査 との差
合 計	49.5	46.6	45.0	42.3	47.0	4.7
東青	48.3	45.5	45.0	39.2	50.0	10.8
津軽	53.4	50.0	46.7	40.8	45.7	4.9
県南	51.7	50.0	45.8	49.2	45.8	▲ 3.4
下北	35.0	30.0	37.5	35.0	45.0	10.0

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	乗用車販売	消費税が上がる10月までは、変化は少ない。
		衣料専門店	百貨店の複合施設への建て替えと、新町地区での定住型マンション・ホテルの、二棟の新規ビル計画が昨年暮れに発表され、経済に明るい兆しが見られ、さらに医療施設の計画もあり、中心街区としての夜明けです。
		一般小売店	外国人観光客の増による一定の底上げは感じる。
		商店街	お客様とのコミュニケーションを強化し、地域催事・社会催事の伝達を密にすること。
		一般飲食店	人が集まるのも、経済活動も、人が「来たい、買いたい」と思う気持ちが基になるものと思いますので、その根になる部分を、いかに理解して街づくりができるか、ある意味成熟した感性をもって、それぞれの物事を行っていききたいものです。
		レストラン	地元の人の消費よりも、観光客頼みなのか。とにかく冬を乗り切りたい。
		住宅建設販売	消費増税に対する意識が、消費者には低いと感じる。
津軽		コンビニ	冬祭りが来月あるので、人出が多くあることを祈っています。
		スーパー	小売・飲食業を中心に、新規出店が増えてきて、ますます人材確保が難しい状況。
		家電量販店	新4K・8K衛星放送開始に伴い、受信チューナー、チューナー内蔵テレビの需要が高まっている。
		一般小売店	来県する外国人客が増えているにもかかわらず、当店では、インバウンド需要は増えない。
		商店街	消費税増税による客足の鈍りと不安、そしてキャッシュレス対応による店側の負担増が、厳しいように感じる。「キャッシュレスで5%還元」に関して、勘違いされている方が多い。
		一般飲食店	4月からの基準法での働き方改革により、事業所内での様々な改革が必須で、残業がなくなる分、賃金が減るので、影響があるかどうか心配。
		観光型ホテル・旅館	7月からの台湾定期便に期待して、営業しています。
		旅行代理店	旅行業は全体的に厳しいと思う（人口減などにより）。原油が下がり、円が高くなっていくと、海外旅行は増となっていかかも。
		美容院	「オリガミ」や「ペイペイ」等のキャッシュレス化が進んでいる。今後、柔軟に対応していきたい。日本の外国化も、地域のブランドを強く持ち、植民地化ではなくファン化させていきたい。
		住宅建設販売	消費税増税の経過措置として、3月末までの契約と9月末までの工事に関して、どの業者（建築）も忙しいようです。
県南		スーパー	クリスマス・年末のような特別な時には、お金を使っている。燃料代も高騰し、節約志向は変わらないと感じるが、安物売りよりは、価値のある商品への反応の方が良いように感じる。
		衣料専門店	最近、以前よりも郡部からの集客が多く感じられる。東日本大震災時における岩手・宮城・福島沿岸部の状況と同じく、もしかすると、郡部の専門店が自然消滅し、なくなってきているのではないかとと思われる。
		商店街	工事関係者の入込みが、多くなってきたように感じます（八戸エリア）。
		卸売業	八戸はコンビニ・スーパーの再編などで、話題に事欠かさない。消費者にとってはメリットはあるものの、オーナーさんには厳しい経営環境なのだろうと察する。これではやっていけないだろうと思われる台数しか駐車していないコンビニが多い。
		一般飲食店	本年は消費税増税により、どのようになるのか注目。選挙もあるので、バラマキに注意。
		スナック	「オリンピックの波を感じたいが、あまり感じない」という話をよく聞きます。これからのかなあ…と思っています。
		観光型ホテル・旅館	インバウンドは好調であるが、全国的に同様であるため、他県に負けないような取り組みが必要である。
		旅行代理店	旅行する人が高齢化している。
		美容院	人口増対策を積極的に推進すべき。日本国民が自国を守らなければならない。外国人労働力頼りだけでは日本の将来はない。日本人の労働年齢を上げてでも、できるだけ自国で経済を動かしてほしい。
		ガソリンスタンド	人手不足の強まり、有効求人倍率の上昇、新規学卒者の採用難、消費税増税対応。今後、厳しさが一層増すことが懸念されます。
下北		スーパー	食品に関しても、多少財布のヒモが渋くなってきているものと思われる。
		一般飲食店	当店従業員の平均年齢は、67～68歳です。長い人で60年勤務、他の人でも35年から40年になります。みんな実年齢以上に働いていますが、若い人は長く勤められないですね。
		ガソリンスタンド	毎年、冬のシーズンには、燃料の値段が上がりますが、今シーズンは、原油も落ち着いているので、家計や経費の圧迫につながらず良かった。
企業	東青	建設	消費増税は無いのではないかと思います。アベノミクスという全く不毛な政策を、そろそろやめる年になれば良いと思う。
		津軽	電気機械製造
	津軽	建設	平成31年もスタートし、亥のように元気よく前に進みたいが、建築は先が見えていない状態。景気が良くなるような物事が、起きてくれれば良いのですが。
		広告・デザイン	東京オリンピック関連の仕事量は、中央では十分にあると思われるが、反面、地方では期待できない。全体的には、オリンピックを前にして、極端な経済不況はないと思うが、地方は依然として厳しい。
		東南	電気機械製造
	東南	建設	今後、人手不足や後継者問題で、倒産・廃業する企業が増加するものと思われる。
		経営コンサルタント	クライアントの中でも、後継者不在で、事業継続を断念した企業が数社ありました。その予備軍も数社あります。
下北		食料品製造	毎年のことだが、12月～2月は天候（雪）の良し悪し（雪の多・少）に、経済が左右される。
雇用	東青	新聞社求人広告	中心市街地空洞化の深刻さを、つくづく感じます。

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れない、きめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
 - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断
参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038